

事業報告書（令和3年度）

事業名 (支え合う地域づくりを目指して) 町内の課題克服と地域リーダー養成のための学習会

団体名 津倉わいわいESD 担当者名 小槇章生

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

別紙（令和3年度 津倉わいわいESDの活動記録綴り）のとおり

(6月活動)

①6月21日 ESD総会 「2020年度活動の総括、2021年度の年間活動計画の承認」
13:00～15:00 津倉町集会所

(7月活動)

(ふれあいカフェ)

①7月5日 13:00～15:00 津倉町集会所 13名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり

②7月12日 13:00～15:00 津倉町集会所 9名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり・・・手芸教室（あわび結びのストラップ）

③7月19日 13:00～15:00 津倉町集会所 11名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり・・・ペタンク大会

④7月26日 13:00～15:00 津倉町集会所 11名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり・・・北ふれあいセンターから保健師が訪問
(コロナ対策の見直し講演)

(8月活動)

(ふれあいカフェ)

①8月2日 13:00～15:30 津倉町集会所 12名参加（対象：津倉町在住）
内容・・・岡山市（市民協働局）が取材に来訪

コロナ感染拡大のため活動休止

(9月活動)

コロナ感染拡大のため活動休止

(10月活動)

(ふれあいカフェ)

①10月4日 13:00～15:00 津倉町集会所 11名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり・・・

②10月11日 13:00～15:00 津倉町集会所 13名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり・・・北ふれあいセンターから福祉士、保健師
の視察と講演（デルタ株の対応） 手芸「折り紙」

③10月18日 カフェお休み
独居老人および老々介護の高齢者へ「祭り寿司弁当」を作って提供

④10月25日 13:00~15:00 津倉町集会所 15名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・ベタンク大会

(11月活動)

(ふれあいカフェ)

①11月1日 13:00~15:30 津倉町集会所 11名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり

②11月8日 13:00~15:00 津倉町集会所 12名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・手芸「干支のストラップ」

③11月15日 13:00~15:00 津倉町集会所 13名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・ベタンク大会

④11月22日 13:00~15:00 津倉町集会所 10名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・

⑤11月29日 13:00~15:00 津倉町集会所 14名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・ダーツ大会

(12月活動)

①12月6日 13:00~15:00 津倉町集会所 11名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・手芸「だるまの根付け」

②12月13日 13:00~15:00 津倉町集会所 13名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・手芸「ハンドタオルでポーチ」づくり

③12月20日 13:00~15:00 津倉町集会所 12名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・ベタンク大会

(1月活動)

※1月17日 ESD 役員会 12:00~ 津倉町集会所 4名参加
・新年度の活動計画について協議

①1月17日 13:00~15:00 津倉町集会所 13名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・ぜんざい提供、茶話会

(講演会)

・12月12日 学習講演会 10:00~ 演題「知って得する民法改正」
対象:津倉町在住者 参加者31名
内容:民法改正の注意点(相続の手続き、遺言の要件緩和)

(独居老人支援)

・9月19日 ボランティアで食事づくり
対象:津倉町独居老人30名 (対象:津倉町在住75歳以上)
内容:おはぎ弁当の提供。 民生委員同行で配達した。

- ・10月20日 ボランティアで食事づくり
対象：津倉町独居老人 30名（対象：津倉町在住 75歳以上）
内容：祭り寿司弁当の提供。民生委員同行で配達した。
- ・12月24日 ボランティアでクリスマスケーキづくり
対象：津倉町独居老人 30名（対象：津倉町在住 75歳以上）
内容：手作りケーキを提供

※コロナ禍により中止した活動

- ・8月計画 子ども夏祭り 中止
- ・9月計画 お月見茶会 中止
- ・年間の諸々の講演会・見学会計画 中止
- ・伊島小学校の課外授業 中止
- ・ふれあいカフェのクリスマスパーティ&新年会の中止

※ふれあいカフェ : 毎週：月曜日（13：00～16：00）開催 常時 12～15名参加

高齢者の居場所づくり活動を図りながら「支え合う地域づくり」を目指す

{特記イベント}

●手芸

- ・あわじ結びのストラップ
- ・折り紙遊び
- ・干支のストラップ
- ・だるまの根付け
- ・ハンドタオルでポーチづくり
- ・シール貼り絵
- ・ペン立て

●ランチ & 童謡

●健康体操およびペタンク大会、ダーツ大会

●手作り豆腐の販売

●脳トレ（間違い探し等）

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

- ・北ふれあいセンターから福祉士、保健師を招いて、デルタ株への対応について講演をしてもらい、引き続きコロナ対策の徹底を図った。コロナ禍の中で必要とされる「新生活様式」についてどのように対応すれば良いのか再確認。その結果民生委員を中心とする町内会全体で「高齢者対策」に取り組んだ。
- ・児童の登下校時の見守りについては、ESD活動と町内会が協調する形で実施することになり、要員の確保が進んだ。
- ・町内で多数の人が参加可能で持続可能なイベント行事を企画し、「支え合う地域づくり」の絆醸成を図る計画だったが、子ども夏祭り、ラジオ体操およびお月見茶会、独居老人を囲むクリスマスパーティなどのふれあいイベントが全てコロナ禍で中止になったのは残念である。
- ・毎週実施している「ふれあいカフェ」も8月～9月間はコロナ禍で未実施、その後はなんとか開催したが食べるイベントは中止を余儀なくされた。高齢者から「カフェに参加するのが唯一の楽しみ！」という声が多い中で、自分の役割が求められる「参加型カフェ」にシフトしている。見るだけ、しゃべるだけから生きがいを感じられるカフェにしたい。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

・成果の一番は、何といても「ふれあいカフェ（毎週1回開催）」の定着と充実である。総括を踏まえて、参加者が増えるようメニューの見直しやPRを行った。その結果、「ここへ来るのが楽しみ。あれを又やりたい。」という声が聴かれる。主催者にとっては、遣り甲斐のある状況になってきている。この状況から親しさ、友情、共助の精神に繋がっていると感じている。

スタッフは相変わらず大変であるが高齢者の方には大層喜んで頂ける結果となっている。一方で、カフェ運営に関して、全員が協力する体制が出来たように感じている。

・計画していた講座会がコロナ禍で中止になったので目指すところの「支え合う地域づくり」は不発に終わった。来期は、今後の推移を予測するなかで「今やらなければならないこと。今から準備しておかなければならないこと。」を実践することである。したがって、講座テーマについては、家庭において直ぐにも実践すること、意識の改革を図りこれから徐々に実践していくことに分けて行きたい。

・「お茶会」は、小学生や園児が休日を利用して点前を修練し、親や祖父母に感謝を込めて振舞う。この「ふれあい茶会」は、例年微笑ましい光景のイベントになっているが、今年は3密を避けて中止した。町内の老若男女が集う交流で地域づくりに貢献できず残念である。

・ラジオ塔の発見後、町内会にラジオ塔を活用したイベントも加わり、参加者意識にも変化がみられる。しかしながら、今年はコロナ禍の影響でほとんどの行事を中止しました。

4. 今後の課題と展望

第一はコロナの収束、その後の展開であるが、

・独居老人の世帯が急激に進んでおり、町内会でもどのような生活状況の人なのか把握しきれていない。まずは、75歳以上の人の不安やニーズの把握のため調査を実施したい。その中において「支え合う地域づくり」で何を支援すべきか考えたい。10年後は独居老人世帯が30%程度となっているだろう。高齢者の生活環境は大きく変わってくる。この大きな問題は、町内会で取り組まなければならない課題であるが、ESD活動で先行した調査と支援を行う。

・他町内では「生活お助け隊」を結成して、清掃や買い物代行など高齢者のニーズに応じた手伝いを行っている町内会もある。この事業を先行してESD活動に取り込み、町内会事業へと発展させたい。

・今年は、コロナ禍で活動が制約されたので、次世代の地域リーダーの発掘に努めることが出来なかった。しかし、避けて通れない道であり、今後はリーダーシップが見えるようなイベントを企画して、リーダーの発掘と養成を町内会と連携して行いたい。